

令和元年11月8日 公告

放出下水処理場機械棟外受変電設備工事

設計図書の一部に表記誤りがありました。下記正誤表をご確認ください。

正誤表

訂正箇所	誤	正
特記仕様書P.12 第31条 14,15	14 動力変圧器(3φ 3300/210 200kVA 油入 微量PCB含有) 3台 15 照明変圧器(1φ 3300/210-105V 50kVA) 1台	14 動力変圧器(1φ 3300/210V 200kVA 油入 微量PCB含有) 3台 15 照明変圧器(3φ 3300/105V 50kVA) 1台
図面第5号	図面のとおり	図面のとおり
図面第6号	図面のとおり	図面のとおり
図面第11号	図面のとおり	図面のとおり
図面第20号	図面のとおり	図面のとおり
図面第21号	図面のとおり	図面のとおり
図面第49号	図面のとおり	図面のとおり

- | | |
|--------|-----|
| 3 はつり工 | 1 式 |
| 4 防塵塗装 | 1 式 |

第 29 条 直線接続はレジン注入工法を用い施工する。

第 30 条 施工する上で必要な壁、床の貫通及びはつり工事は、本工事で施工する。

なお、貫通工事を施工する時は十分な養生を行い、事前に要領書を提出し監督職員に承諾を受けた後、施工し、補修を行うものとする。

第 31 条 本工事にて撤去する機器類は次のとおりとする。

- | | |
|--|------|
| 1 No. 1 受電盤 (屋内自立形) (H2350×D2000×W700) | 1 面 |
| 2 No. 2 受電盤 (屋内自立形) (H2350×D2000×W700) | 1 面 |
| 3 変圧器盤 (屋内自立形) (H2350×D2000×W700) | 1 面 |
| 4 No. 1 DS 盤 (屋内自立形) (H2350×D2000×W700) | 1 面 |
| 5 No. 2 DS 盤 (屋内自立形) (H2350×D2000×W700) | 1 面 |
| 6 No. 1 ターボブロワ盤 (屋内自立形) (H2350×D2000×W700) | 1 面 |
| 7 No. 2 ターボブロワ盤 (屋内自立形) (H2350×D2000×W700) | 1 面 |
| 8 No. 3 ターボブロワ盤 (屋内自立形) (H2350×D2000×W700) | 1 面 |
| 9 沈澄池低圧動力盤 (屋内自立形) (H2350×D700×W800) | 1 面 |
| 10 低圧(200V)盤 (屋内自立形) (H2350×D700×W800) | 1 面 |
| 11 低圧(100V)盤 (屋内自立形) (H2350×D700×W800) | 1 面 |
| 12 非常電源(100V)直流電源(100V)盤 (屋内自立形) (H2350×D700×W800) | 1 面 |
| 13 コントロールセンタ (屋内自立形) (H2350×D600×W600) | 13 面 |
| 14 動力変圧器 (3φ 3300/210 200kVA 油入 微量 PCB 含有) | 3 台 |
| 15 照明変圧器 (1φ 3300/210-105V 50kVA) | 1 台 |
| 16 分岐回路盤 (屋内自立形) (H2350×D800×W1000) | 1 面 |
| 17 バスダクト | 1 式 |

第 32 条 撤去する変圧器、コンデンサ、遮断器については、撤去前に PCB の混入状況を確認し、混入が判明した場合は、監督職員と協議する。

また、既設配線の撤去は錯綜場所となるため、誤切断防止等の要綱を示した撤去要領書を作成し、事前に監督職員に提出し承諾を得た後、施工する。

第 33 条 本工事で発生した微量 PCB 含有機器 (動力変圧器 (3φ 3300/210 200kVA 油入) 3 台) は監督職員の指示のもと場内の指定する場所まで搬入する。

第 8 章 仮設工

第 34 条 本工事施工時に添付図面の更新ステップに基づいて必要な仮設を施す。

第 35 条 本工事施工時に必要となる仮設機器は次のとおりとする。

- | | |
|-----------------|-----|
| 1 高圧受電盤 | 1 面 |
| 2 高圧分岐盤 | 1 面 |
| 3 No. 1 ターボブロワ盤 | 1 面 |
| 4 No. 2 ターボブロワ盤 | 1 面 |
| 5 No. 3 ターボブロワ盤 | 1 面 |

- | | | |
|---|------|----|
| 3 | はつり工 | 1式 |
| 4 | 防塵塗装 | 1式 |

第29条 直線接続はレジン注入工法を用い施工する。

第30条 施工する上で必要な壁、床の貫通及びはつり工事は、本工事で施工する。

なお、貫通工事を施工する時は十分な養生を行い、事前に要領書を提出し監督職員に承諾を受けた後、施工し、補修を行うものとする。

第31条 本工事にて撤去する機器類は次のとおりとする。

- | | | |
|----|---|-----|
| 1 | No.1 受電盤 (屋内自立形) (H2350×D2000×W700) | 1面 |
| 2 | No.2 受電盤 (屋内自立形) (H2350×D2000×W700) | 1面 |
| 3 | 変圧器盤 (屋内自立形) (H2350×D2000×W700) | 1面 |
| 4 | No.1 DS 盤 (屋内自立形) (H2350×D2000×W700) | 1面 |
| 5 | No.2 DS 盤 (屋内自立形) (H2350×D2000×W700) | 1面 |
| 6 | No.1 ターボブロワ盤 (屋内自立形) (H2350×D2000×W700) | 1面 |
| 7 | No.2 ターボブロワ盤 (屋内自立形) (H2350×D2000×W700) | 1面 |
| 8 | No.3 ターボブロワ盤 (屋内自立形) (H2350×D2000×W700) | 1面 |
| 9 | 沈澄池低圧動力盤 (屋内自立形) (H2350×D700×W800) | 1面 |
| 10 | 低圧(200V)盤 (屋内自立形) (H2350×D700×W800) | 1面 |
| 11 | 低圧(100V)盤 (屋内自立形) (H2350×D700×W800) | 1面 |
| 12 | 非常電源(100V)直流電源(100V)盤 (屋内自立形) (H2350×D700×W800) | 1面 |
| 13 | コントロールセンタ (屋内自立形) (H2350×D600×W600) | 13面 |
| 14 | 動力変圧器 (1φ 3300/210V) 200kVA 油入 (微量 PCB 含有) | 3台 |
| 15 | 照明変圧器 (3φ 3300/105V) 50kVA) | 1台 |
| 16 | 分岐回路盤 (屋内自立形) (H2350×D800×W1000) | 1面 |
| 17 | バスダクト | 1式 |

第32条 撤去する変圧器、コンデンサ、遮断器については、撤去前に PCB の混入状況を確認し、混入が判明した場合は、監督職員と協議する。

また、既設配線の撤去は錯綜場所となるため、誤切断防止等の要綱を示した撤去要領書を作成し、事前に監督職員に提出し承諾を得た後、施工する。

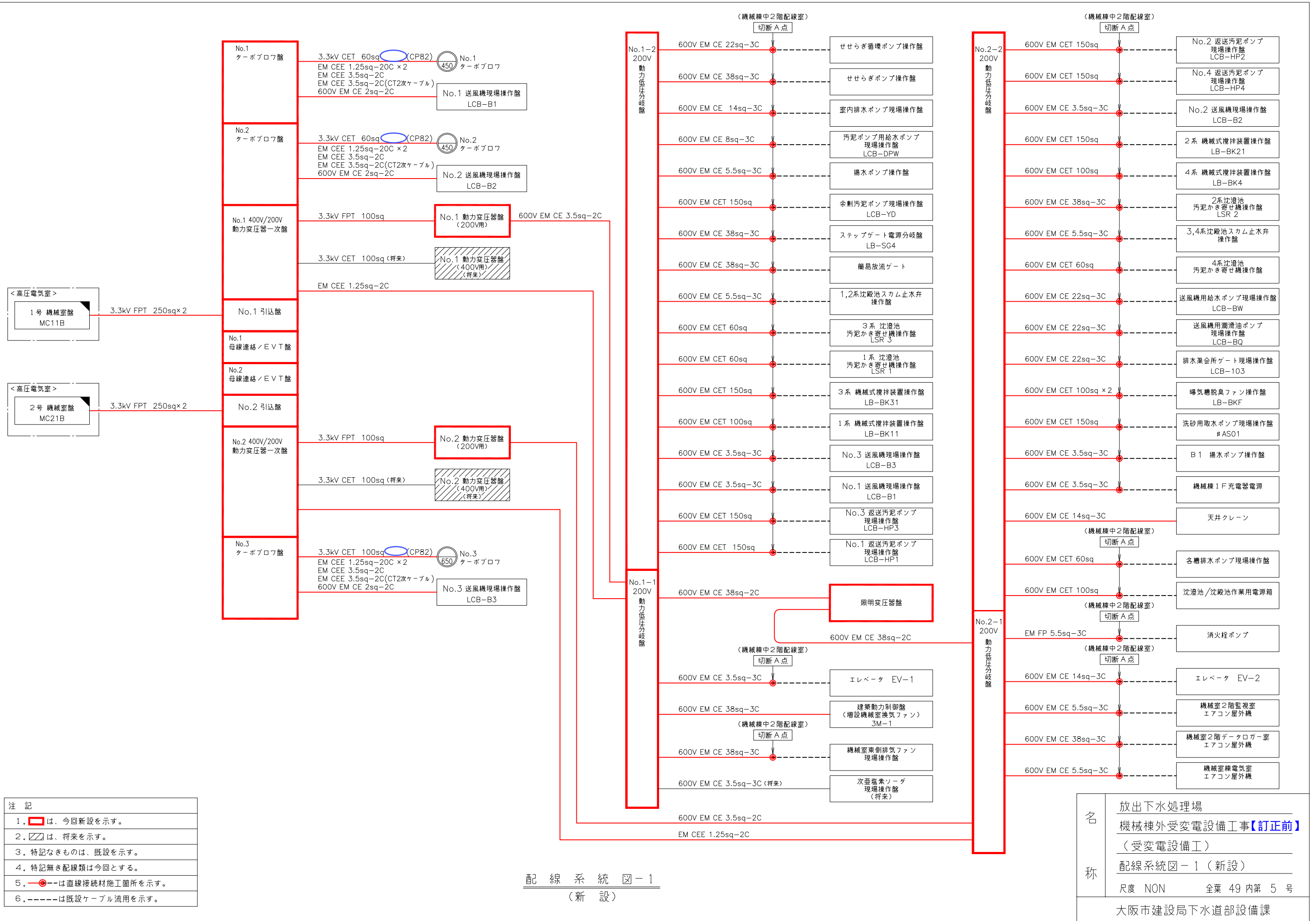
第33条 本工事で発生した微量 PCB 含有機器 (動力変圧器 (3φ 3300/210 200kVA 油入) 3台) は監督職員の指示のもと場内の指定する場所まで搬入する。

第8章 仮設工

第34条 本工事施工時に添付図面の更新ステップに基づいて必要な仮設を施す。

第35条 本工事施工時に必要となる仮設機器は次のとおりとする。

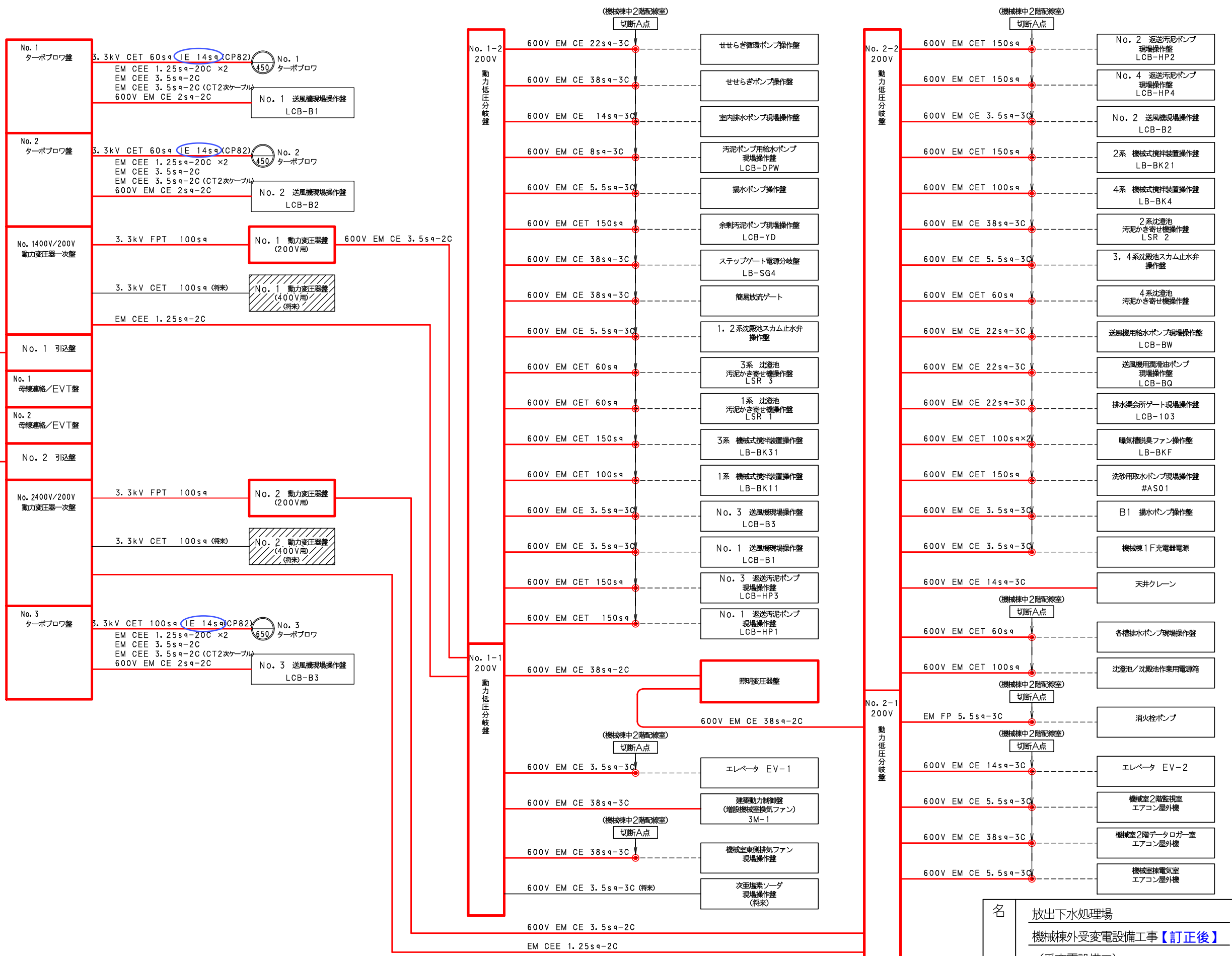
- | | | |
|---|--------------|----|
| 1 | 高圧受電盤 | 1面 |
| 2 | 高圧分岐盤 | 1面 |
| 3 | No.1 ターボブロワ盤 | 1面 |
| 4 | No.2 ターボブロワ盤 | 1面 |
| 5 | No.3 ターボブロワ盤 | 1面 |



- 注 記
1. は、今回新設を示す。
 2. は、将来を示す。
 3. 特記なきものは、既設を示す。
 4. 特記なき配線類は今回とする。
 5. ● --- は直線接続材施工箇所を示す。
 6. - - - - は既設ケーブル流用を示す。

配線系統図-1
(新設)

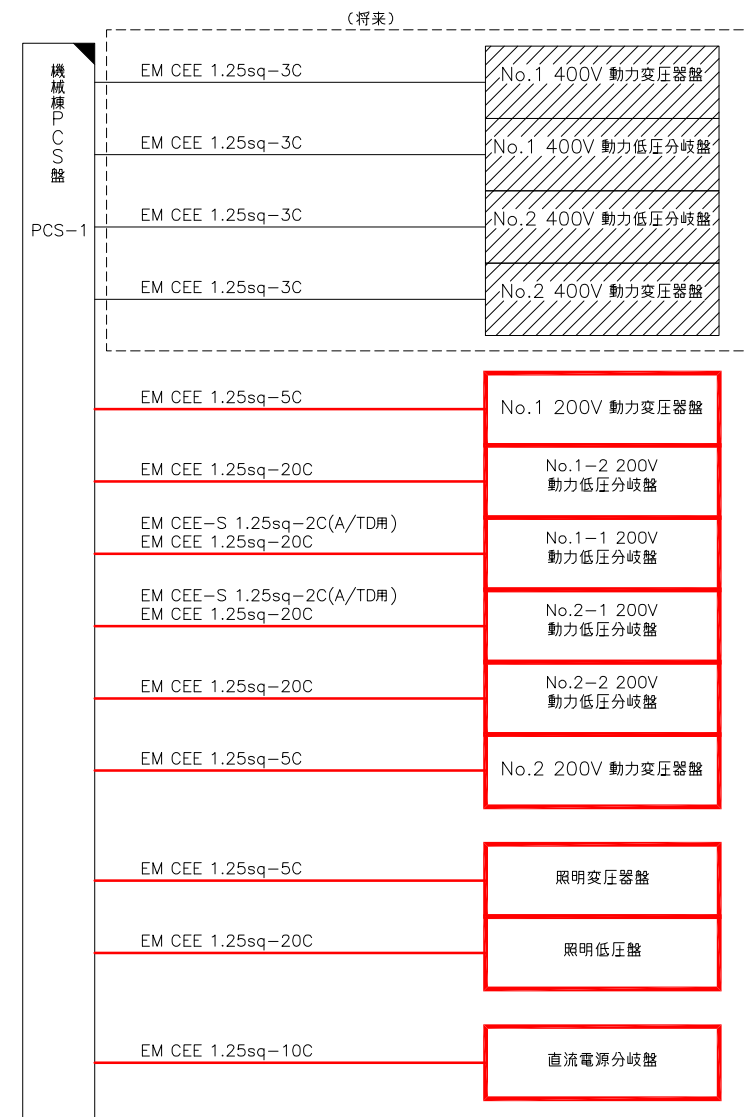
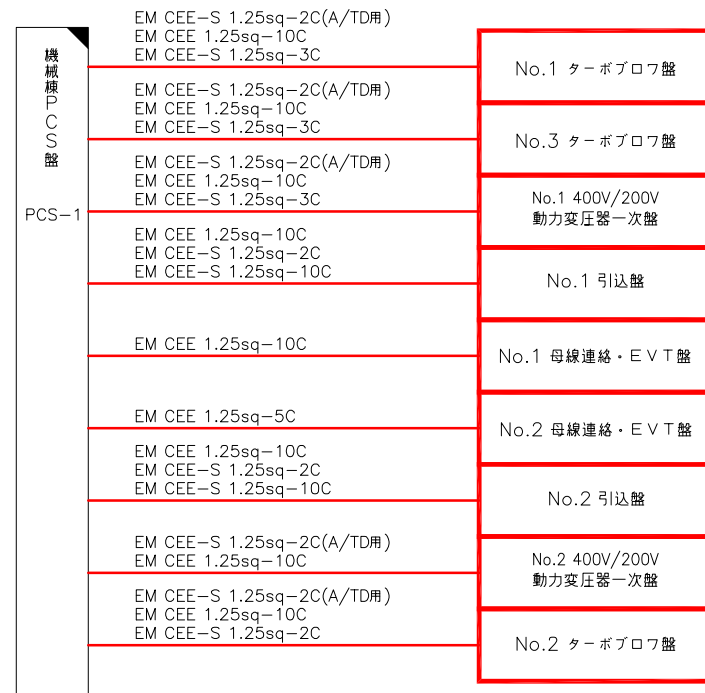
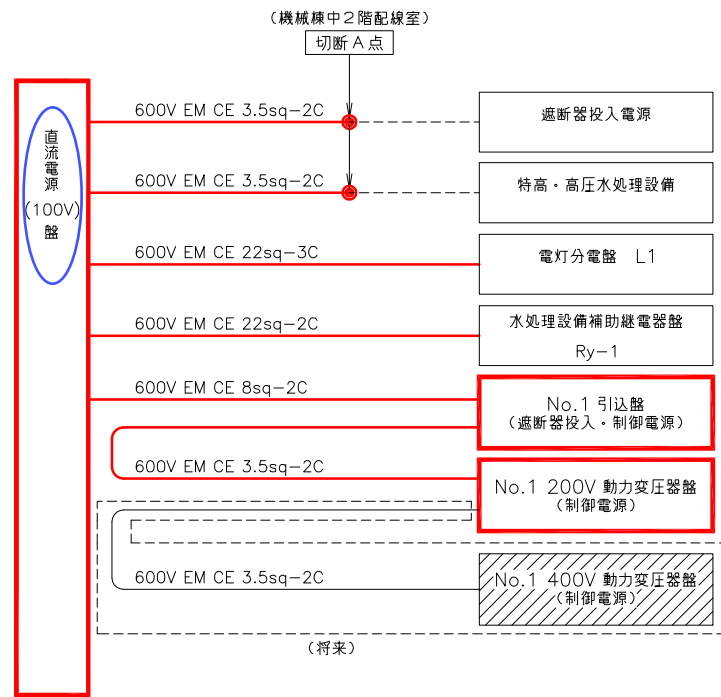
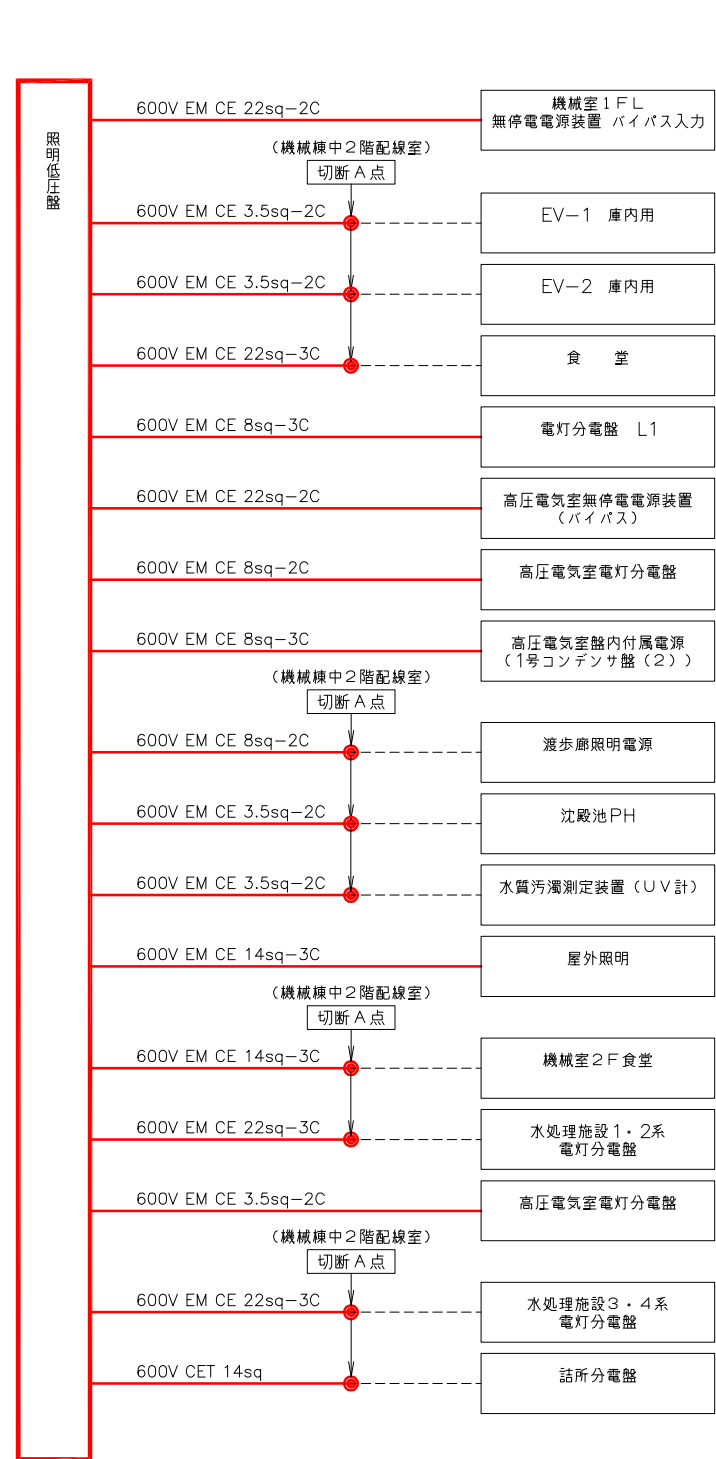
名 称	放出下水処理場
	機械棟外受変電設備工事【訂正前】 (受変電設備工)
	配線系統図-1 (新設)
	尺度 NON 全葉 49 内第 5 号
	大阪市建設局下水道部設備課



- 注 記
1. は、今回新設を示す。
 2. は、将来を示す。
 3. 特記なきものは、既設を示す。
 4. 特記なき配線類は今回とする。
 5. ● は直線接続材施工箇所を示す。
 6. --- は既設ケーブル流用を示す。

配線系統図-1
(新設)

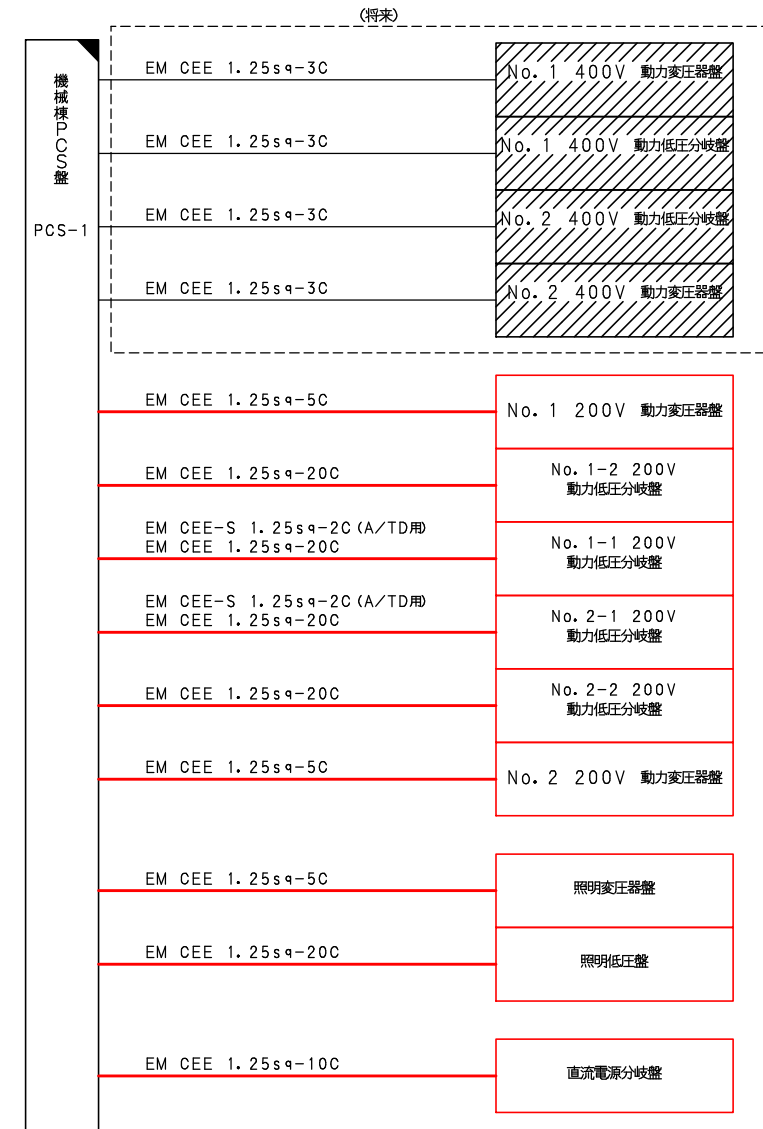
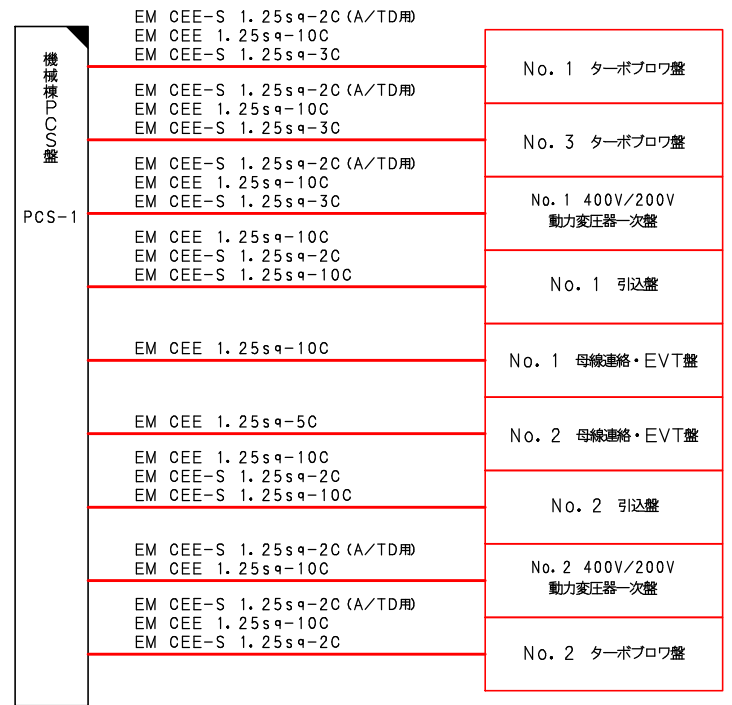
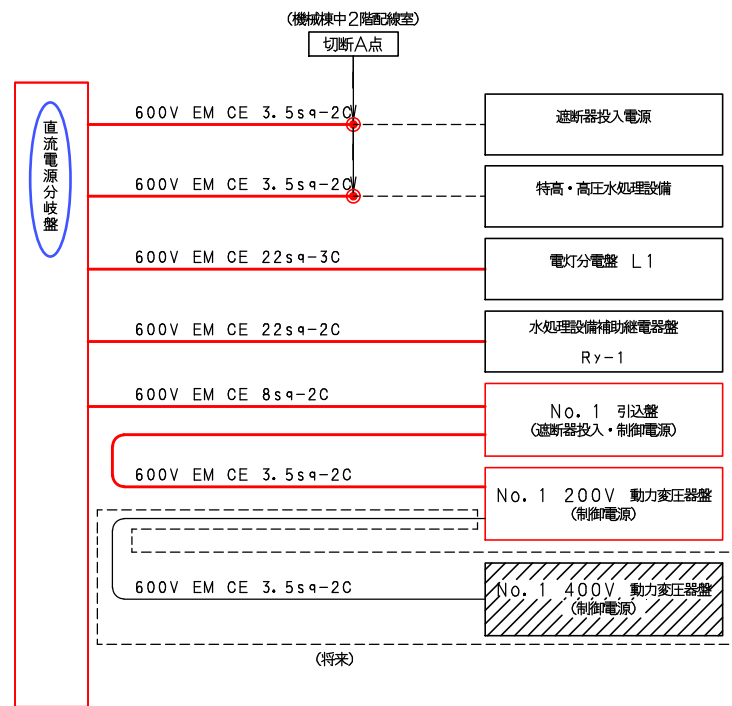
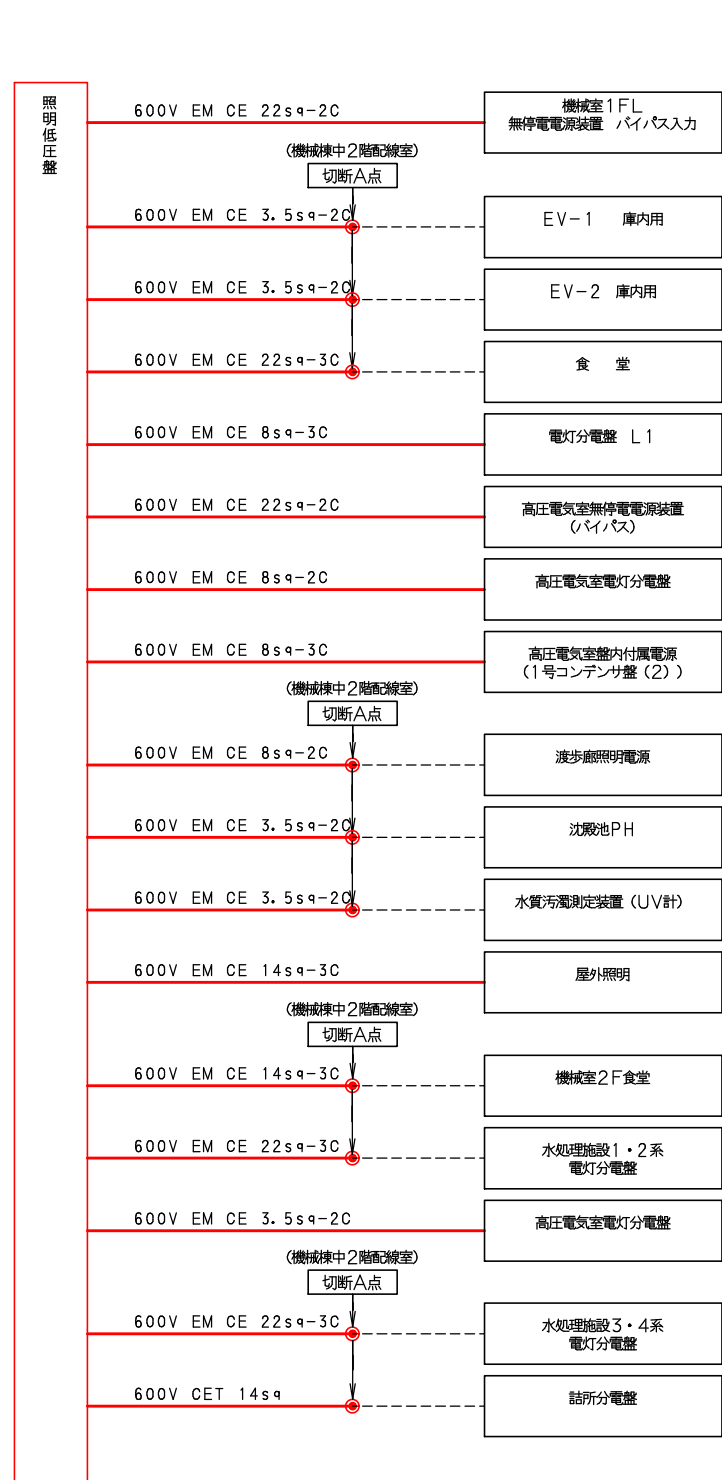
名	放出下水処理場 機械棟外受変電設備工事【訂正後】 (受変電設備工)
称	配線系統図-1 (新設) 尺度 NON 全業 49 内第 5 号 大阪市建設局下水道部設備課



注記	
1.	■は、今回新設を示す。
2.	■は、別途機能追加を示す。
3.	▨は、将来を示す。
4.	特記無き配線類は今回とする。
5.	●は直線接続材施工箇所を示す。
6.	-----は既設ケーブル流用を示す。

名	放出下水処理場
	機械棟外受変電設備工事【訂正前】
称	(受変電設備工)
	配線系統図-2 (新設)
	尺度 NON 全葉 49 内第 6 号
大阪市建設局下水道部設備課	

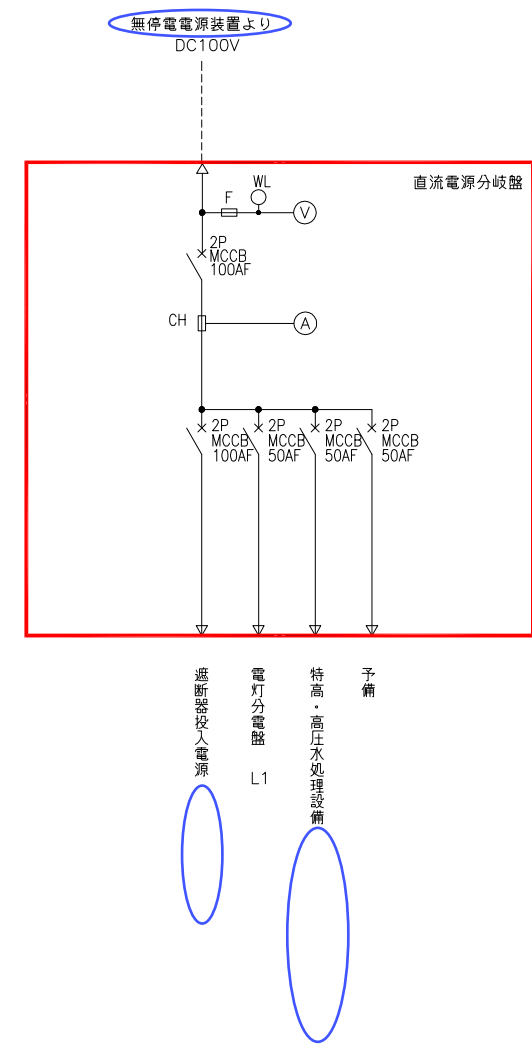
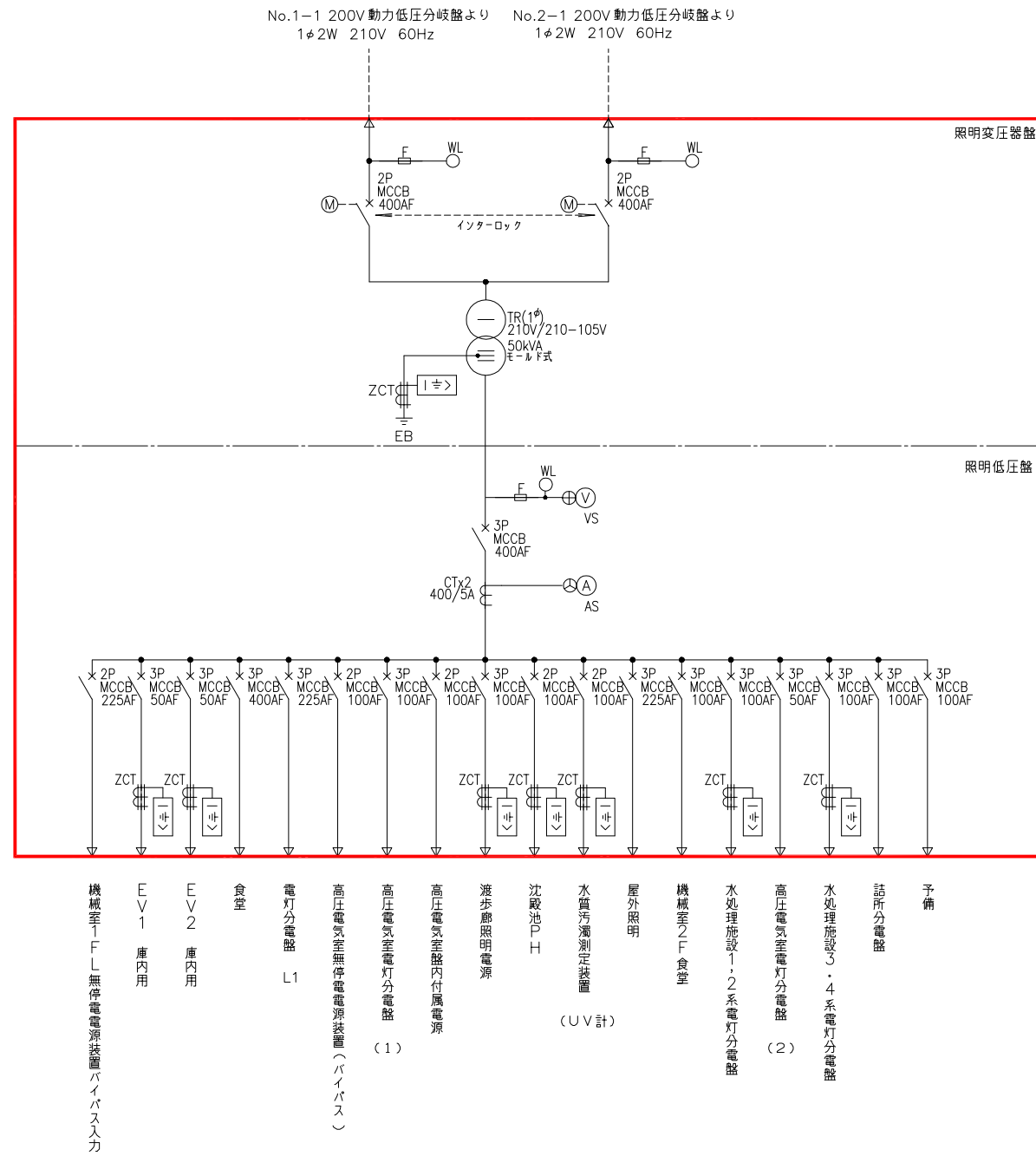
配線系統図-2
(新設)



注 記	
1.	□ は、今回新設を示す。
2.	▭ は、別途機能追加を示す。
3.	▨ は、将来を示す。
4.	特記無き配線類は今回とする。
5.	●- は直線接続材施工箇所を示す。
6.	- - - は既設ケーブル流用を示す。

名	放出下水処理場
	機械棟外受変電設備工事【訂正後】
	(受変電設備工)
称	配線系統図-2 (新設)
	尺度 NON 全業 49 内第 6 号
大阪市建設局下水道部設備課	

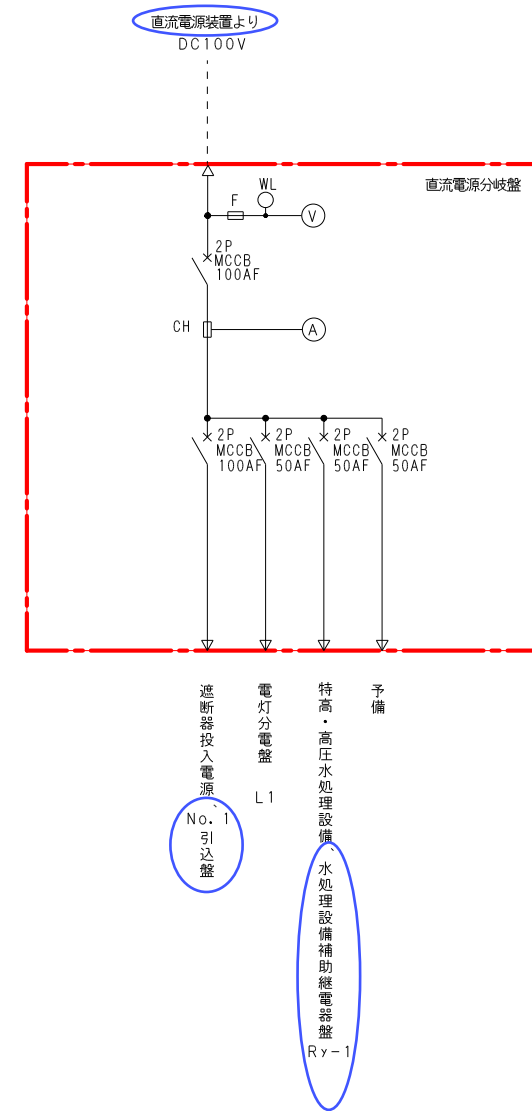
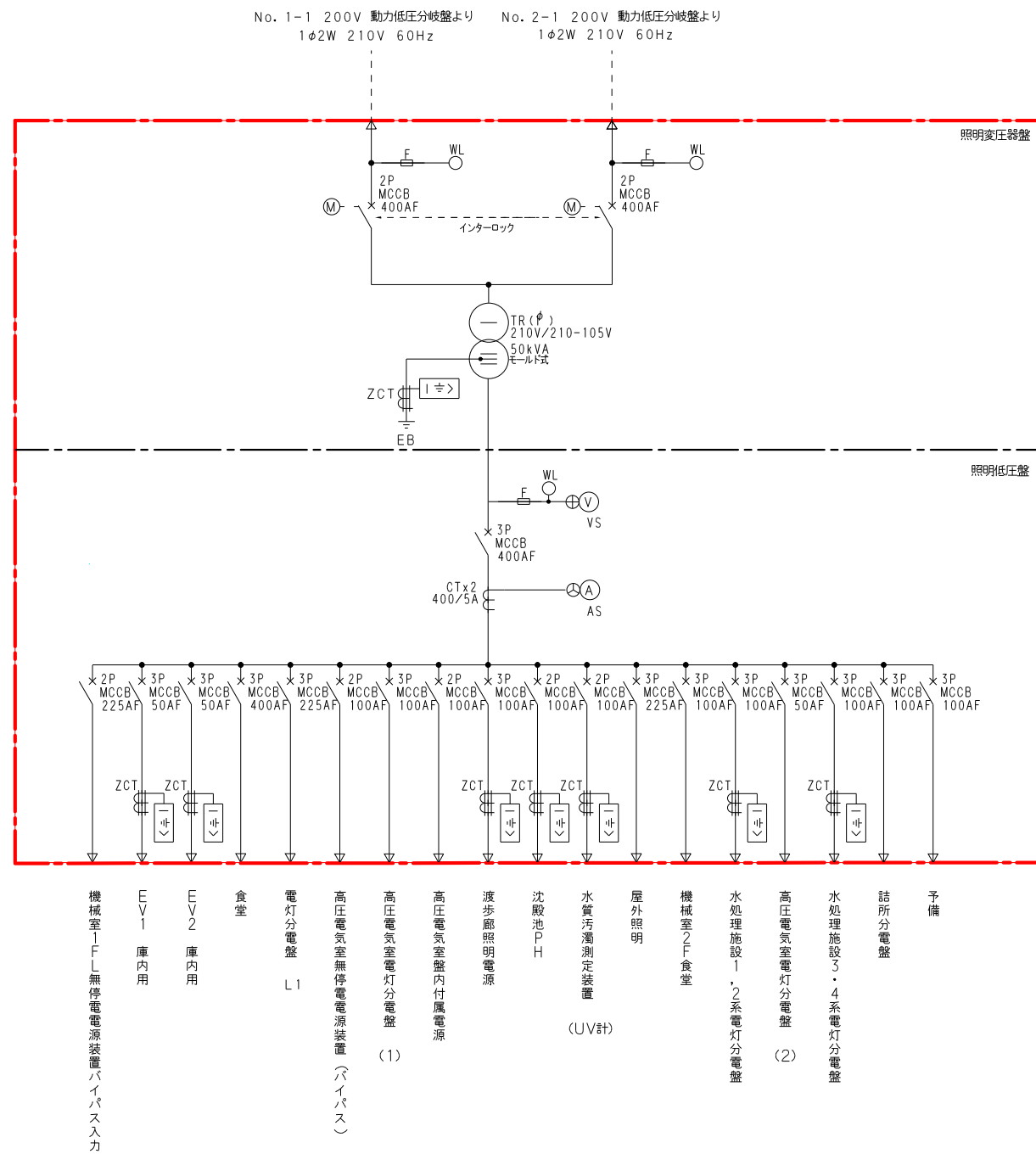
配線系統図-2
(新設)



単線結線図(機械棟)(3)
(新設)

注記
1. は、今回新設を示す。

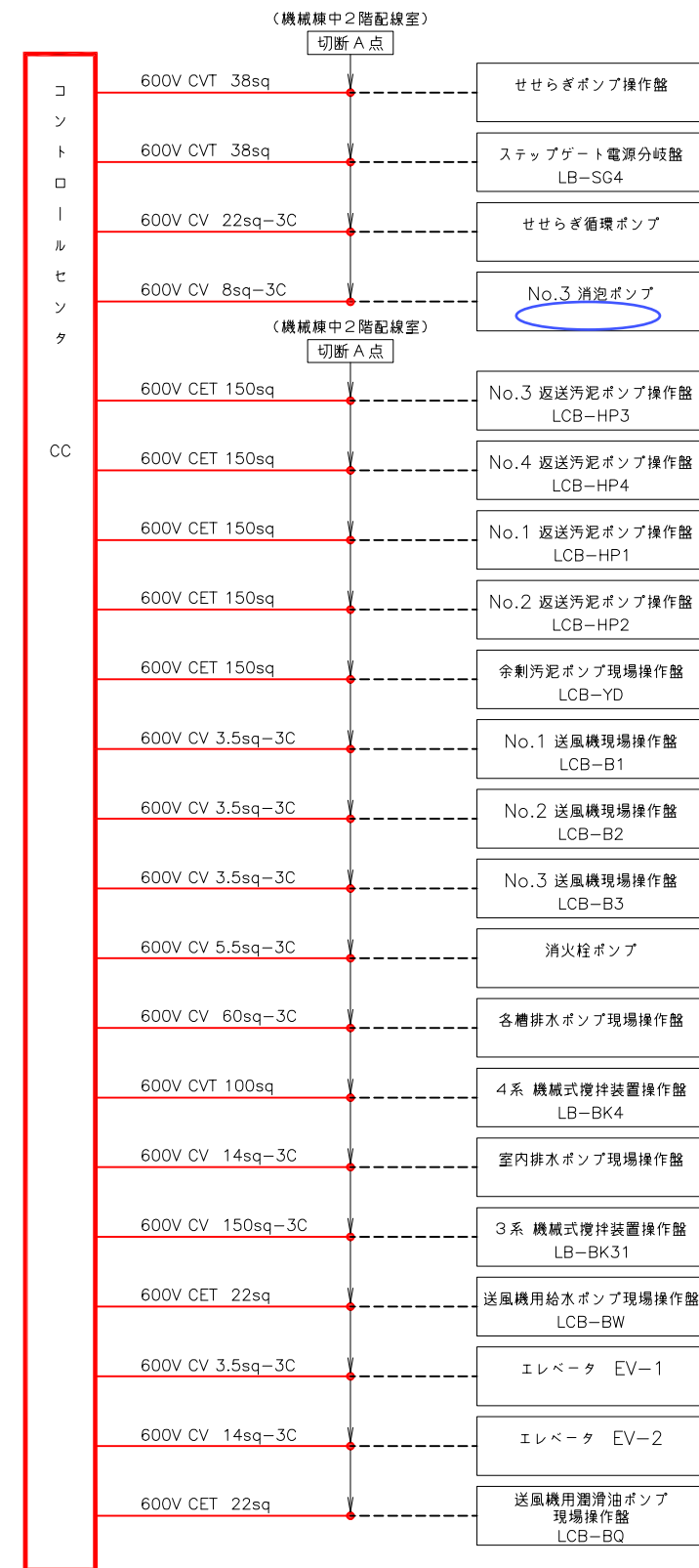
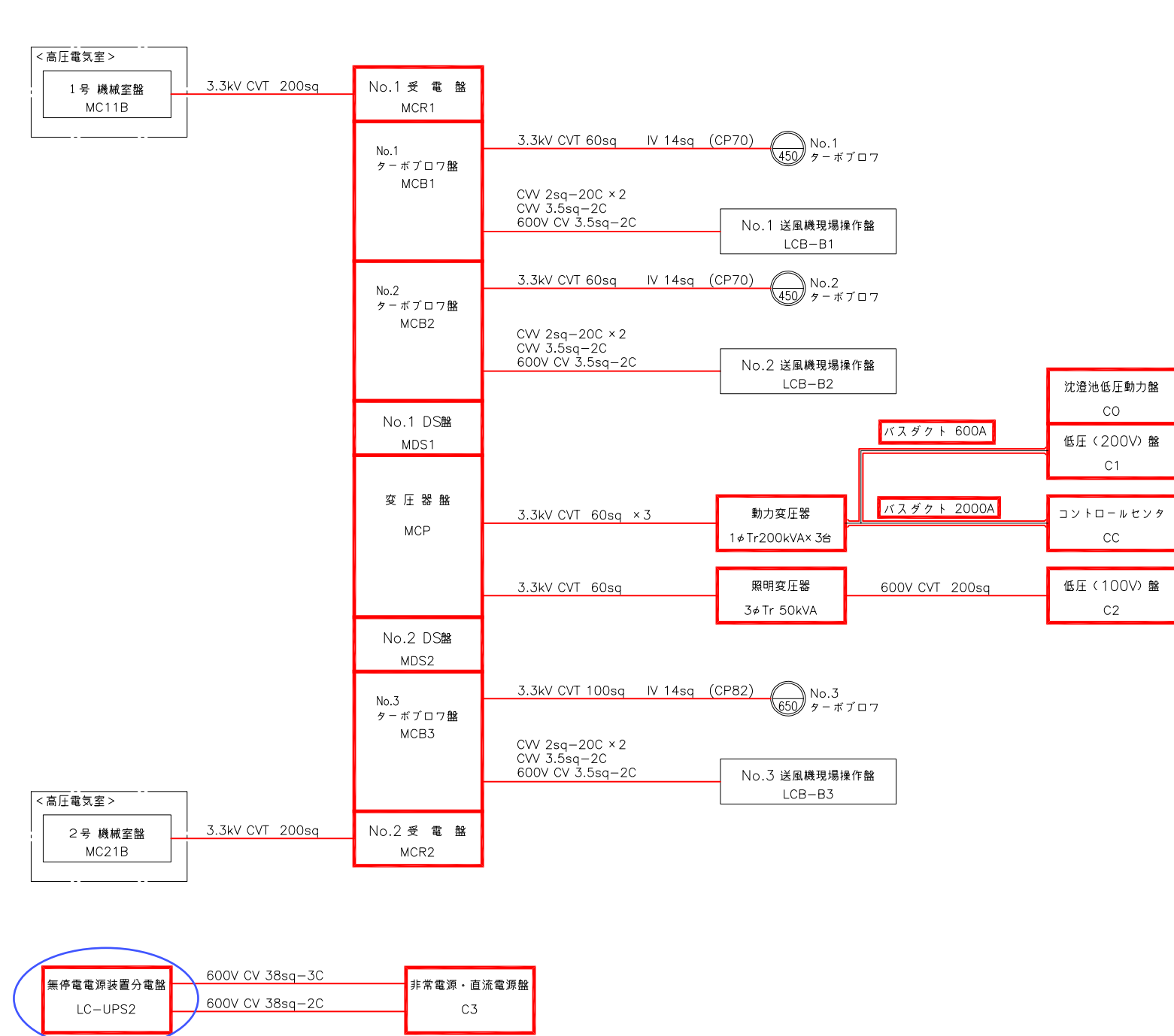
名称	放出下水処理場 機械棟外受変電設備工事【訂正前】 (受変電設備工)
	単線結線図(機械棟)(3)(新設)
	尺度 NON 全葉 49 内第 11号
	大阪市建設局下水道部設備課



単線結線図 (機械棟) (3)
(新設)

注 記
1. は、今回新設を示す。

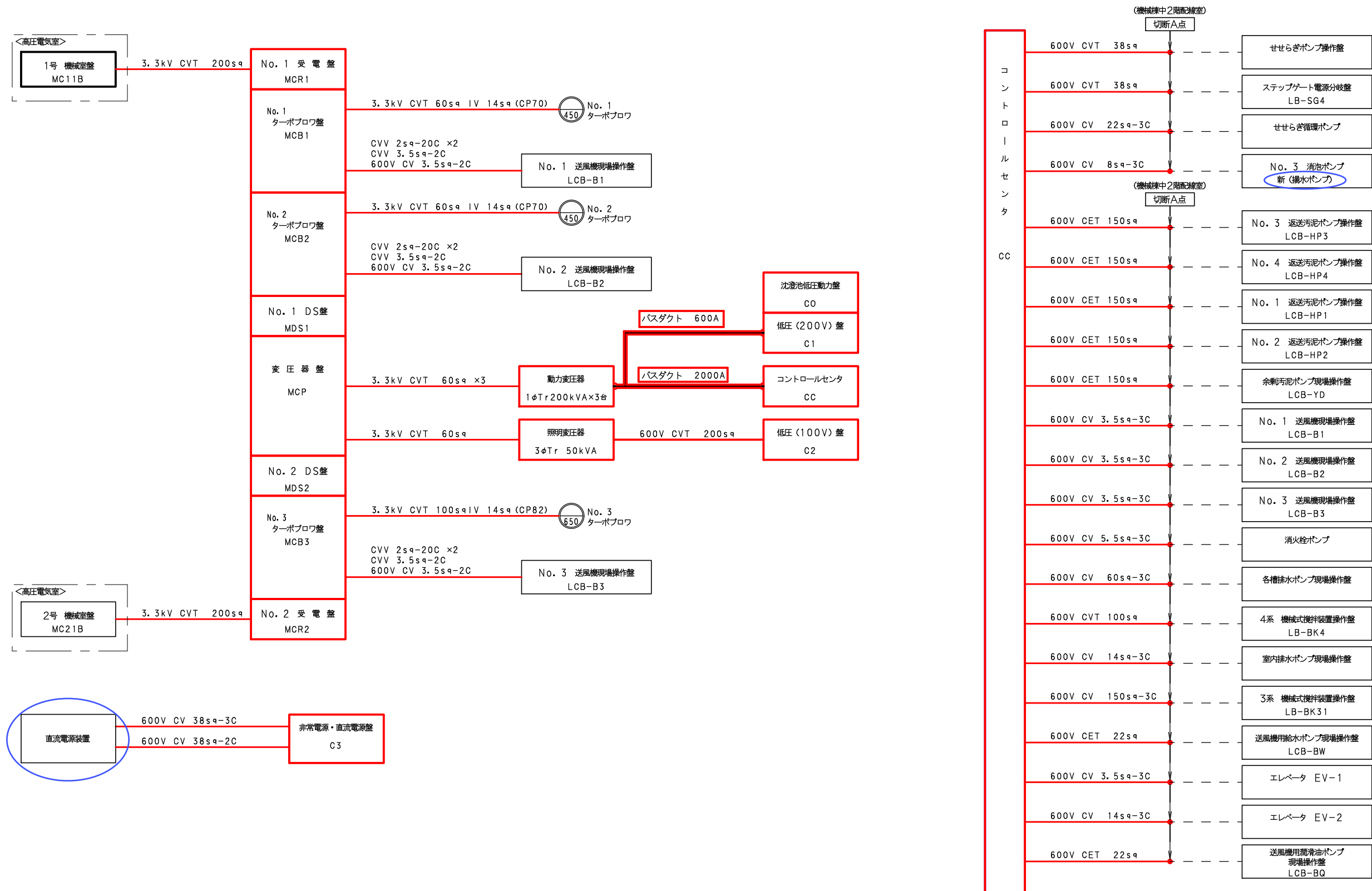
名	放出下水処理場
	機械棟外受変電設備工事【訂正後】 (受変電設備工)
称	単線結線図 (機械棟) (3) (新設)
	尺度 NON 全葉 49 内第 11 号
大阪市建設局下水道部設備課	



配線系統図-1
(撤去)

注記
 1. は、今回撤去を示す。
 2. 特記無き配線類は今回撤去とする。

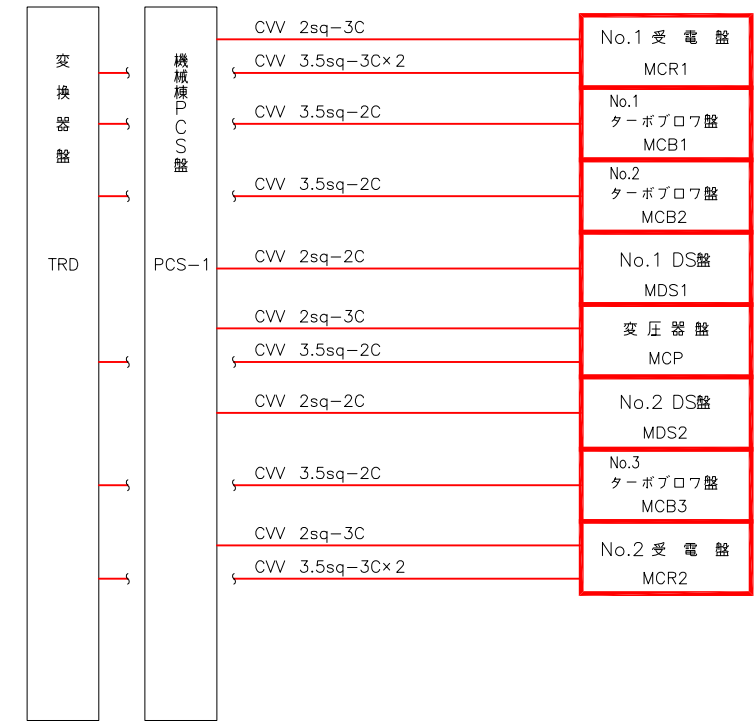
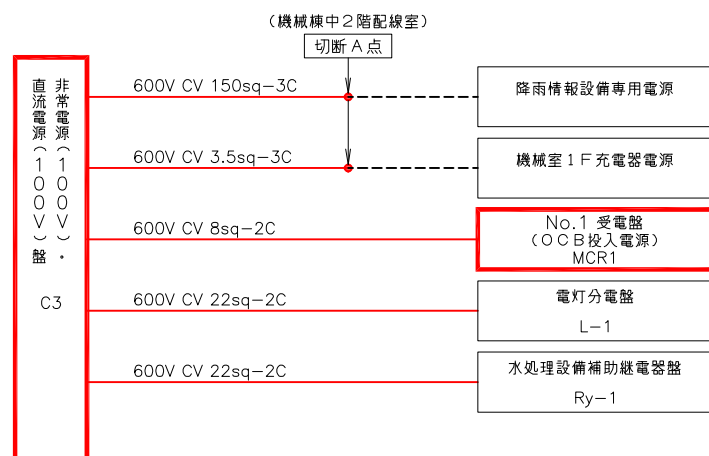
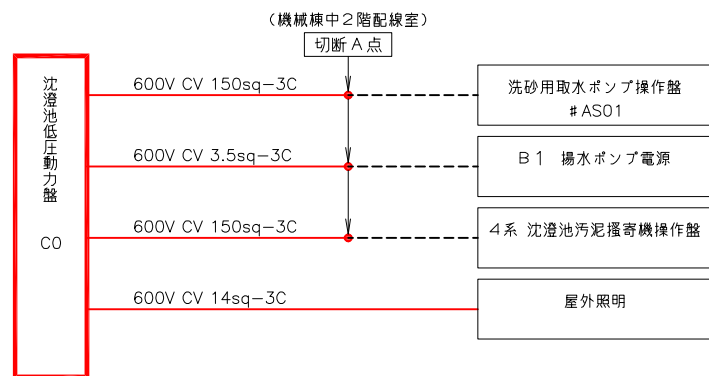
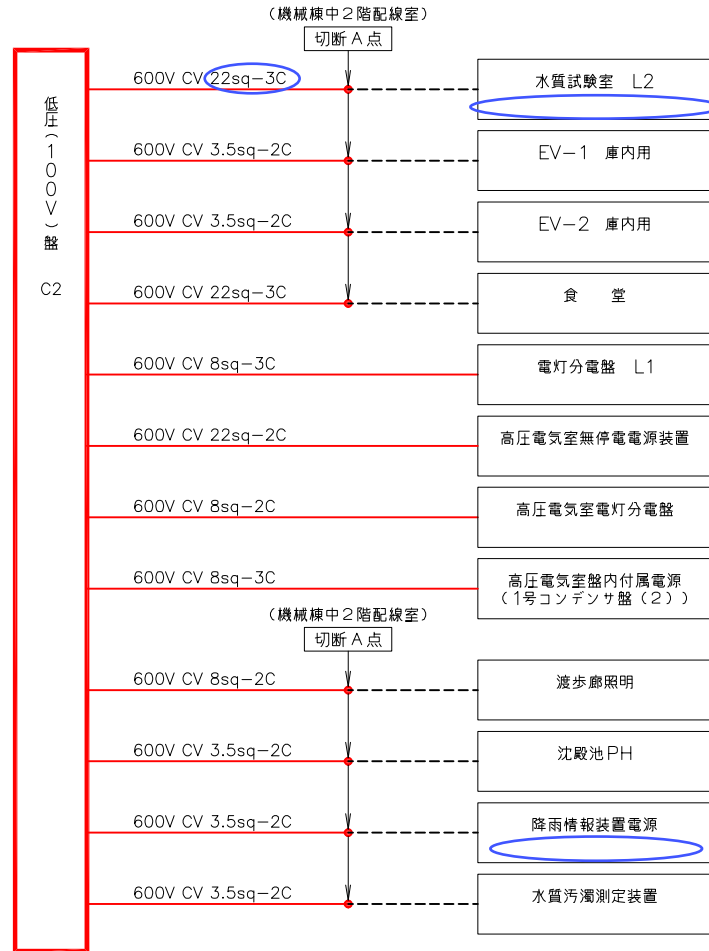
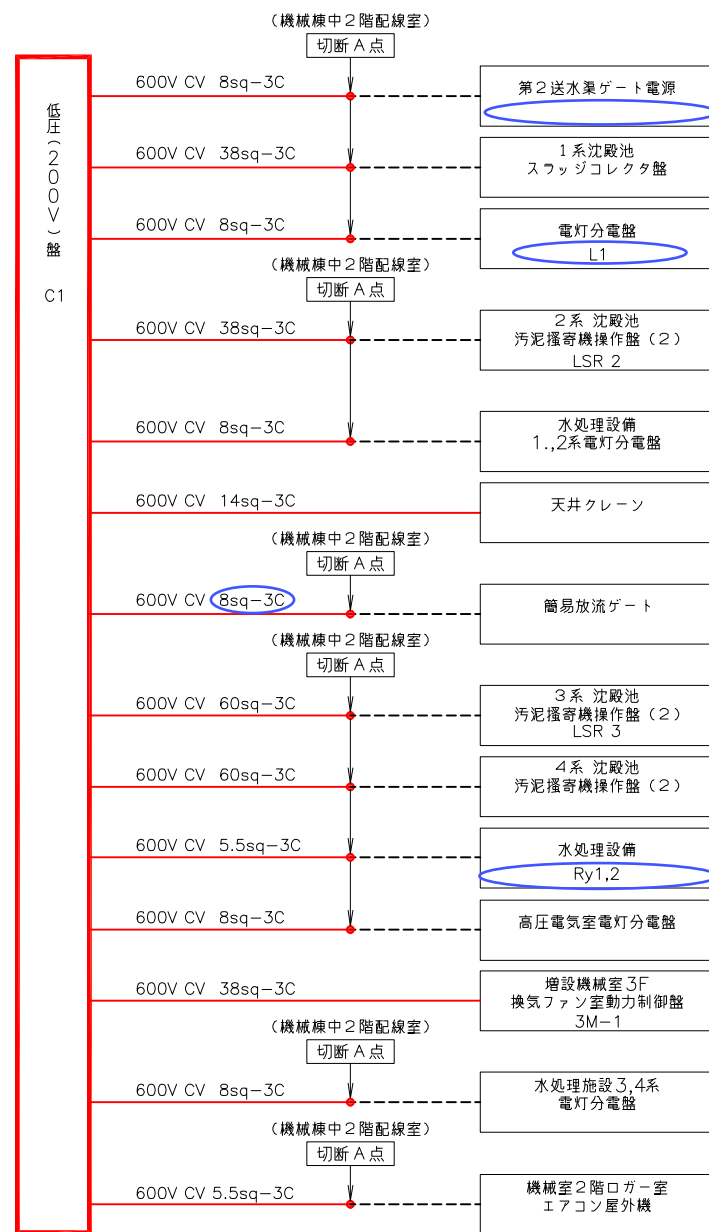
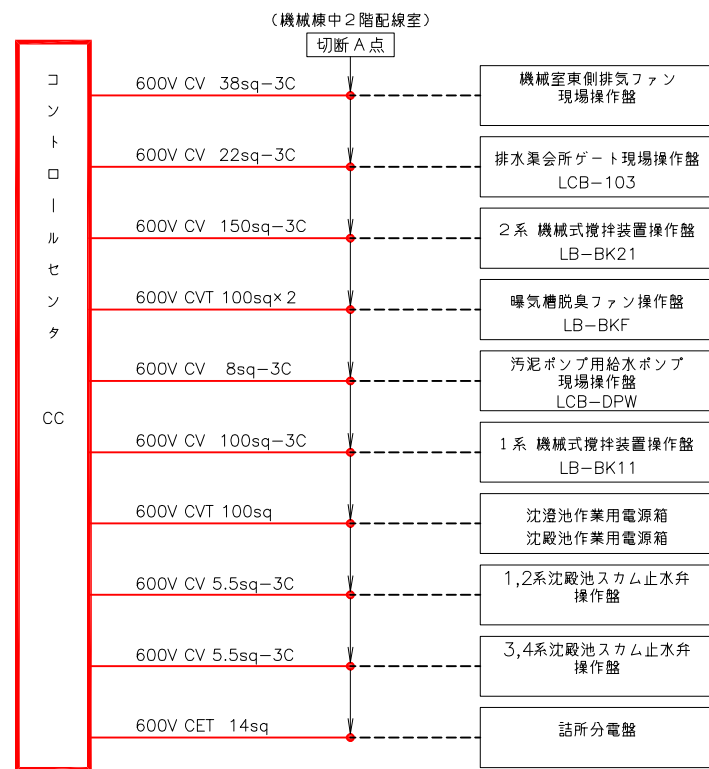
名	放出下水処理場
	機械棟外受変電設備工事【訂正前】 (受変電設備工)
称	配線系統図-1 (撤去)
	尺度 NON 全葉 49 内第 20号
大阪市建設局下水道部設備課	



配線系統図-1
(撤去)

注 記
 1. は、今回撤去を示す。
 2. 特記無き配線類は今回撤去とする。

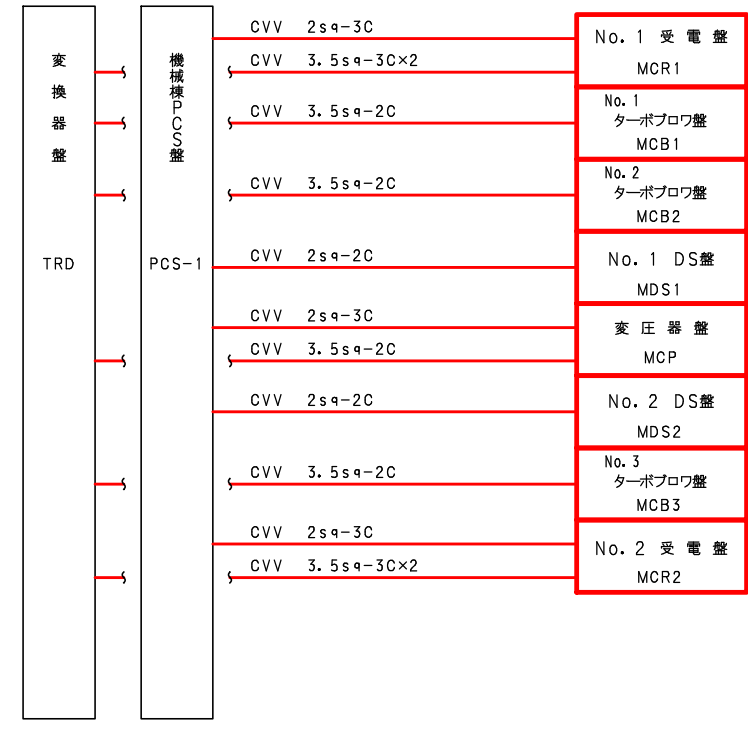
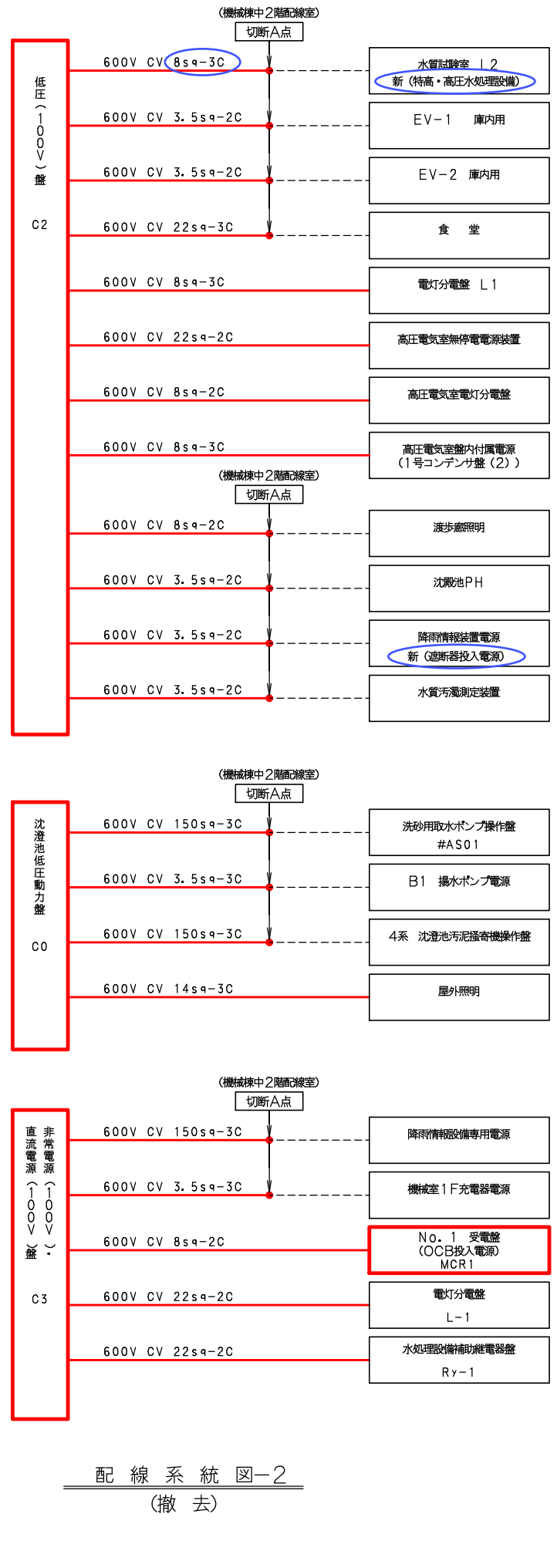
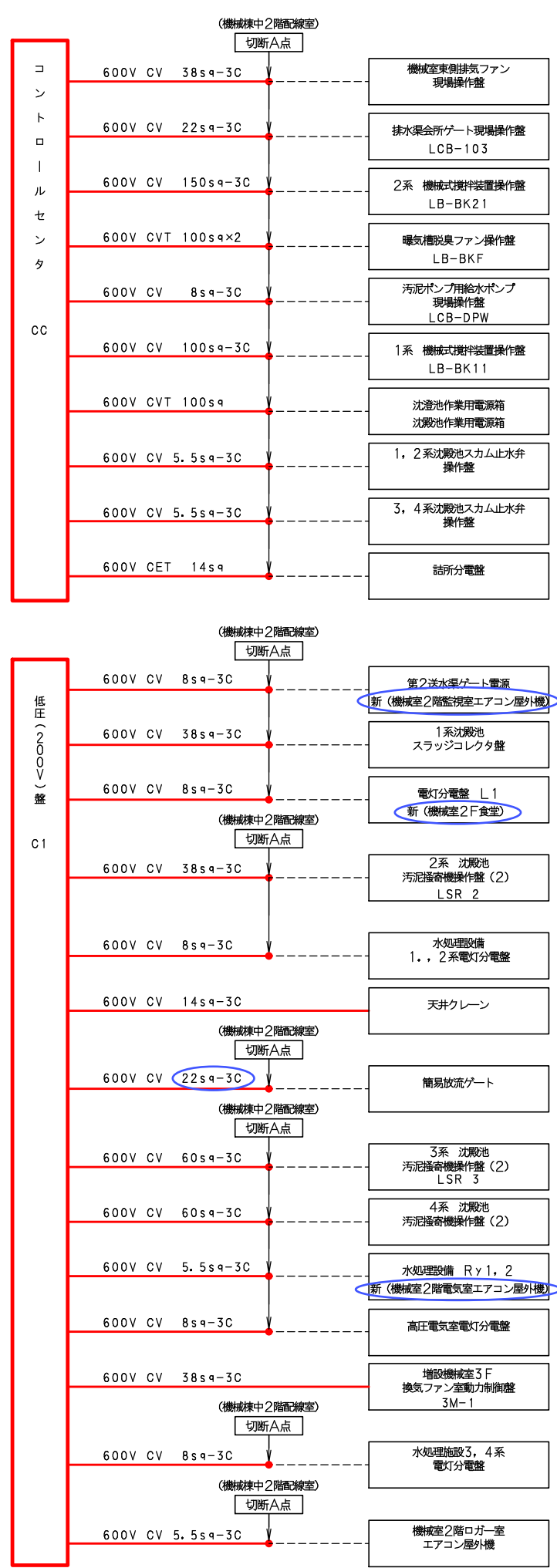
名	放出下水処理場 機械棟外受変電設備工事【訂正後】 (受変電設備工) 配線系統図-1 (撤去)
称	尺度 NON 全葉49 内第20号 大阪市建設局下水道部設備課



配線系統図-2 (撤去)

注記
 1. [] は、今回撤去を示す。
 2. 特記無き配線類は今回撤去とする。

名	放出下水処理場 機械棟外受変電設備工事【訂正前】 (受変電設備工)
称	配線系統図-2 (撤去)
	尺度 NON 全葉 49 内第 21号
	大阪市建設局下水道部設備課

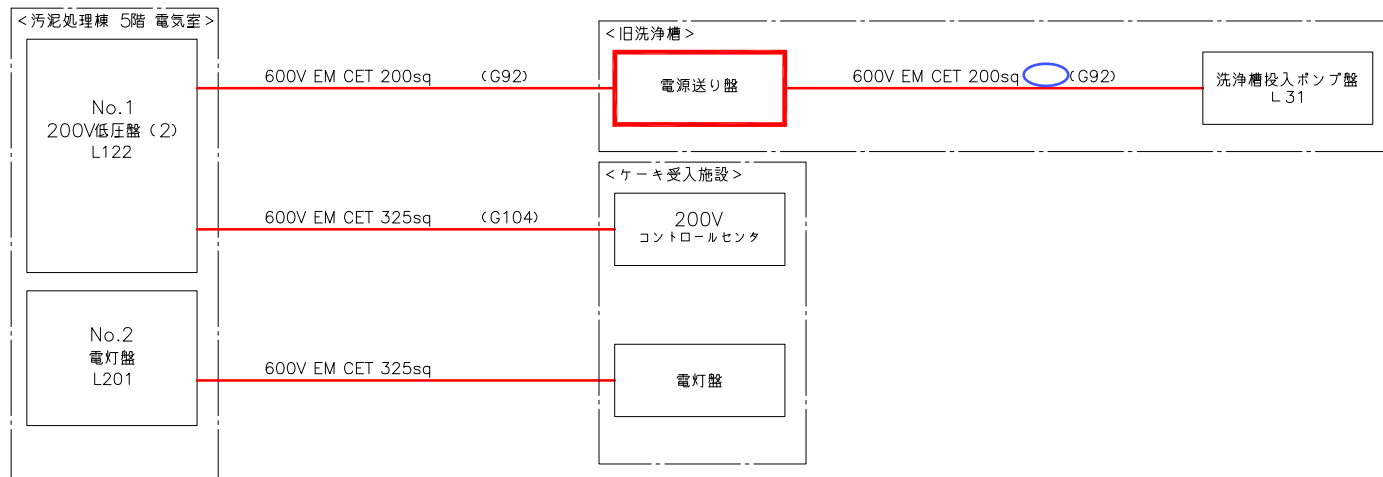


配線系統図-2 (撤去)

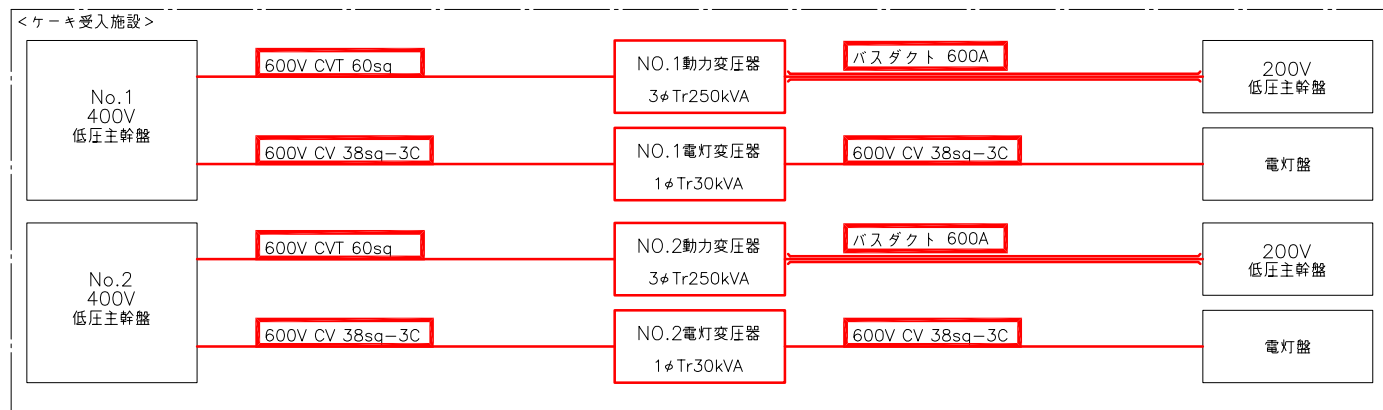
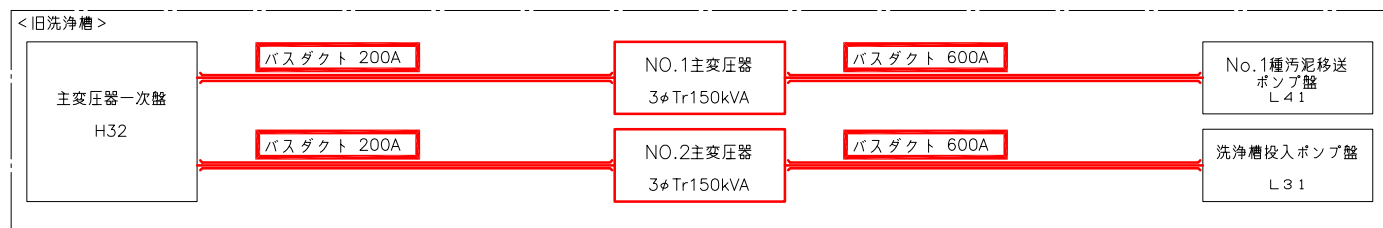
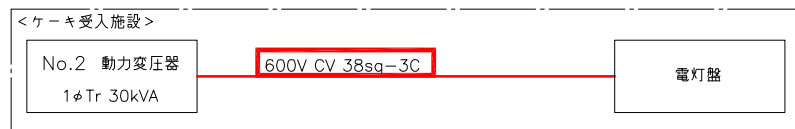
注 記

1. は、今回撤去を示す。
2. 特記無き配線類は今回撤去とする。

名	放出下水処理場 機械棟外受変電設備工事【訂正後】 (受変電設備工) 配線系統図-2 (撤去)
称	尺度 NON 全葉49 内第21号 大阪市建設局下水道部設備課



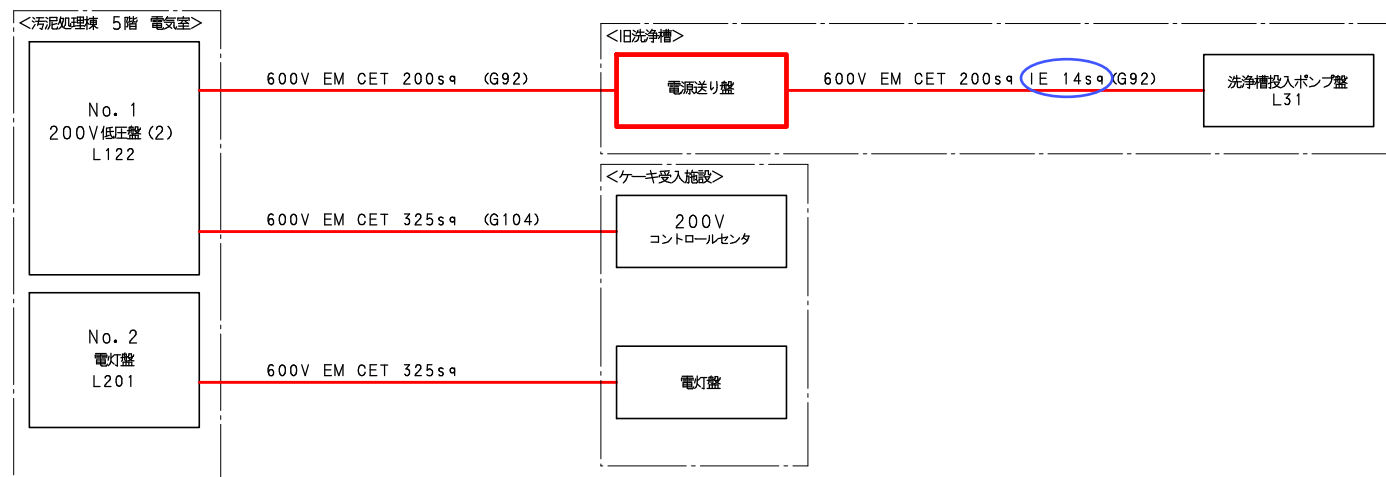
配線系統図(新設)



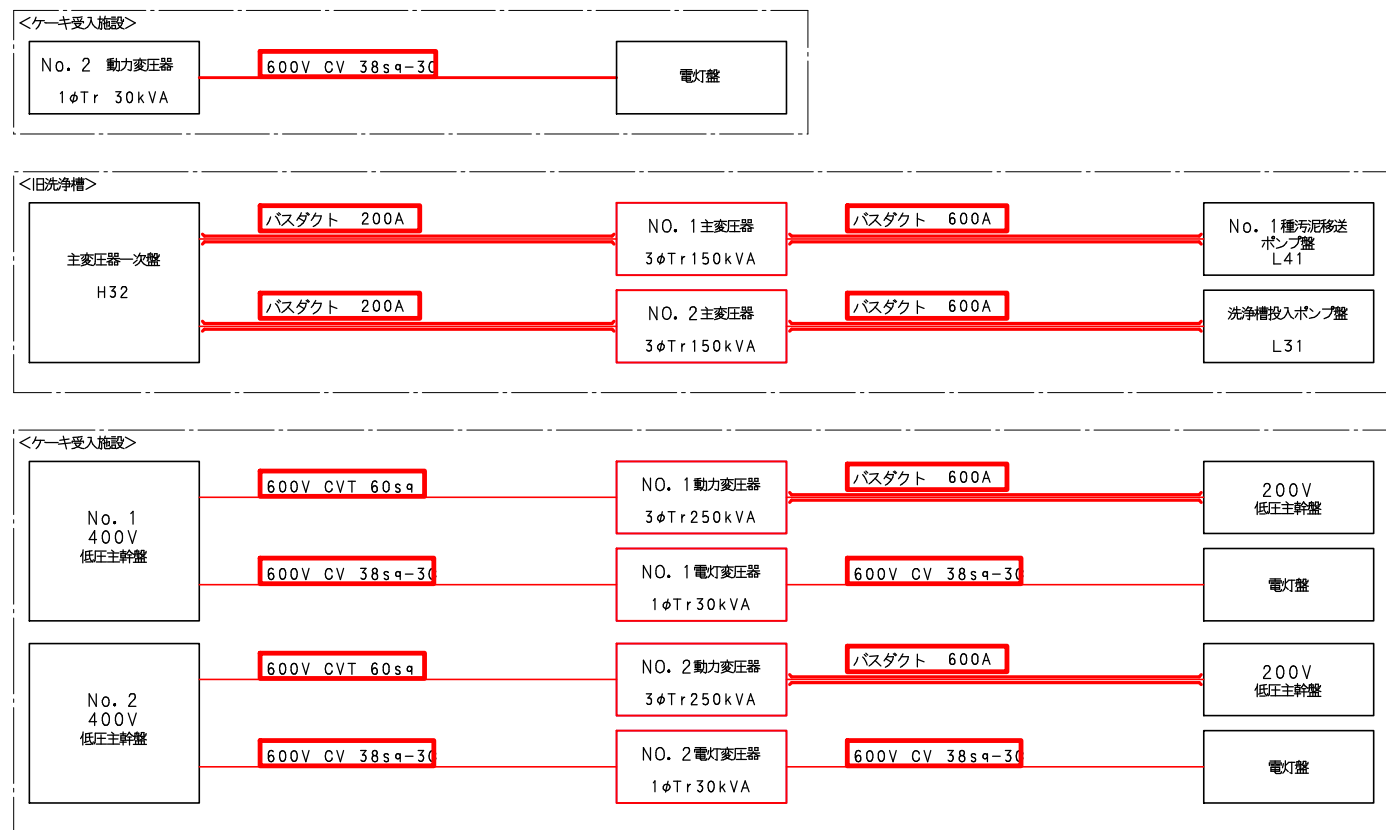
配線系統図(撤去)

注 記
1. は、今回を示す。
2. 特記なきものは、既設を示す。
3. 特記なき配線類は今回とする。

名 称	放出下水処理場
	機械棟外受変電設備工事【訂正前】 (受変電設備工(2))
尺 度	NON 全葉 49 内第 49号
	大阪市建設局下水道部設備課



配線系統図(新設)



配線系統図(撤去)

注 記
1. は、今回を示す。
2. 特記なきものは、既設を示す。
3. 特記無き配線類は今回とする。

名	放出下水処理場 機械棟外受変電設備工事【訂正後】 (受変電設備工(2)) 配線系統図(新設・撤去)
称	尺度 NON 全葉49 内第49号 大阪市建設局下水道部設備課